

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子どもの広場 桑名		公表日		2025年 1月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	・密にならないように人数調整をしており適切である。 ・個別療育/ 集団療育等の実施に合わせて仕切りの使用を行う等環境設定が行えている。 ・仕切り等使用し、無駄なく適切な環境にしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	0	・適切な配置で調整している。 ・対象人数に合った配置数である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	2	・賃貸の为りリフォームは難しい。特に療育を行うスペースには仕切りをする等、利用者様の療育の妨げにならないよう工夫している。 ・階段には手すりが設けられている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	0	・日常的に換気、掃除、消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	0	・1階、2階にそれぞれ複数部屋があり、状況に応じて使用可能である。 ・療育が終わった児童の保護者を待つスペースや見守る職員が確保されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	1	・業務の円滑化や支援の質の向上を図る為、日常の出来事や気づきに関して朝礼等職員が集合できる状態での周知、共有、相談を都度行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0	・事業所アンケートを実施し、会議等で周知され、業務改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	・朝礼や会議以外でも職員間で相談等が行える状況になっている。 ・朝礼や会議等で話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	・適宜、研修受講の機会が与えられている(各研修及びeラーニング)	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0	・作成されており、保護者にも支援プログラムのQRコードが印刷された書面を配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	0	・個々に応じたニーズや課題が計画されている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	1	・支援に関わる職員全員で会議を行い、共通理解を深めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1	・計画書の再確認がしやすい環境が整えられており、意識して支援が出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	・日々の記録、個別支援計画、モニタリングなどを常に確認できるようになっている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	・短い時間での利用が中心なので、ポイントを絞って、適切な支援になるよう設定している。 ・ガイドラインを確認し、支援内容に取り入れている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	2	・集団療育については多職種でも連携を行い実施している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	・目的によって同一のプログラムを用いる場合はあるが、1つ以上内容を変更しながら進めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	・個別療育だけでなく、すてっぷ教室や臨床美術など異年齢児との交流の場面がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	・朝礼等で一日の動きを確認、共有し、都度連携を行っている。 ・日々個人に合わせたプログラムを計画、実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	5	・集団療育時には変化のあった点や次回以降のプログラムの見直し等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	・記録した上で改善点等、相談/共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	0	・定期的なモニタリング、適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	・適宜サービス担当者会議や関係機関との会議に参加し、情報共有、支援方針の決定など連携を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	・必要に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	0	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)	10	1	・連携や協力の機会を増やしたい。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	13	・その都度連携を取っている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	・利用日送迎時等にその日の様子を伝え、情報の交換や共有を行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	3	・ブレインジムや家族応援セミナー等の家族支援の案内等、情報提供を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	契約時や支援計画作成時、モニタリング等で説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0	・モニタリングの際やその都度の聞き取りで確認している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17	0	・内容を読み上げ、保護者様に説明し、同意を得ている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	10	・機会があれば行いたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	・相談等は迅速に上司へ報告、予定関係等は適宜職員に周知されている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・Instagram等SNSを活用し、活動の様子や事業所での出来事を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	・関係機関との情報共有の際に関する個人情報の取扱いについて、同意書をとっている。 ・鍵付きの書庫を使用しており、取り扱いについて職員で周知している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	・言語コミュニケーションのみでなくマカトン等で配慮、工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	9	・機会があれば行いたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・事前に食物アレルギーについて保護者に確認し、書類に記入して頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	6	・現在作成中です。3月末までに完成し迅速に対応します。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	5	・現在作成中です。3月末までに完成し迅速に対応します。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	・上司に報告後、朝礼や会議等で周知、検討している。 ・再発防止の為、その都度朝礼などで職員に周知している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	・適宜研修が設けられており、適切に対応している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	1	・身体拘束防止についてDVDでの研修を行っている。 ・契約時に重要事項説明書を用いて説明させていただいている。支援計画にも記載し、更新説明の際に改めて説明を行っている。		